授業科目	国語総合（現代文）				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	１学年	探究	単位数	２	
授業内容	・　評論、小説を中心に、優れた文章をできる限り多く読むことに努める。 ・　さまざまなテーマの文章や作品に興味関心を持ち、自分の考えを深める。 ・　評論の構成や展開に注意して、述べられている論旨を読解する。 ・　小説に描かれた出来事・場面・登場人物の心情や関係性の変化を読み取る。 ・　比喩など修辞的表現の特徴を掴み、その効果を読み味わう。 ・　詩歌の形式やリズム・表現方法を理解して、描かれた世界観を味わう。 ・　基本的な漢字・語彙の理解とその活用能力を高める。 ・　論理的な文章表現力を身につける。				
到達目標	・　論理的な文章の読解能力の育成。 ・　文学的文章の読解能力の育成。 ・　思考力を高め、自己の思いや考えを表現する力を育成する。 ・　基礎的な語彙力をつけて、自己の言語能力を高める。 ・　ものの見方や感じ方・考え方を深め、人生を豊かにする態度を育てる。				
評価方法	定期テスト・小テスト・課題・提出物・ノート・出欠・授業に対する態度などをもとに総合的に評価する。				
使用教材	教科書　国語総合　現代文編（東京書籍） 副教材　新総合　図説国語（東京書籍） セレクト漢字検定（桐原書店） 現代文　力をつける現代文１・２（数研出版）				
その他	・予習として、教科書の本文を読み、難読・難意語句の読み・意味調べを必ず行いましょう。 ・　復習しやすいノートを工夫して作りましょう。 ・漢字検定における目標級を設定して、その取得に努めましょう。				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	国語総合 現代文		高校国語入門		■			1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		評論	技術が道徳を代行する時			■																																	
		評論	水の東西				■																																
		小説	羅生門							■	■	■																											
		詩歌	短歌・俳句の制作										■	■																									
		評論	〈顔〉という現象																■	■																			
		随想	少女たちの「ひろしま」																		■	■																	
		小説	城の崎にて																						■	■													
		評論	広告の形而上学																								■		■										
		詩歌	汚れちまった悲しみに・十五の心・白牡丹																												■	■							
		評論	映像文化の変貌																															■					
		小説	富岳百景																																■	■		■	

授業科目	国語総合（古典）				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	１学年	探究	単位数	３単位	
授業内容	＜古文＞ ◎基本的な古語や文法事項（歴史的仮名遣い・用言・助動詞など）を習得する。 ◎様々な作品に触れ、現代語訳する。また本文の大きな流れをつかみ、おおよその内容を　把握することで、読解能力を養う。 ◎古典作品を自分なりの視点で読み、イメージも含めて文章化して、読みを深める。 ・説話を読み、その面白さに触れて古文に親しむ。 ・歌物語の登場人物の心情と行動を読み取り、物語の中での和歌の役割を考える。 ・随筆を読み、そこに表現されている筆者のものの見方や考え方を理解する。 ・軍記物語を読み、音読してリズムを楽しみ、表現の特徴と効果について考える。またそこに描かれている人物の生き方や時代について考える。 ・日記文学の特色を理解し、作者の思いを読み解く。 ・和歌の修辞を理解し、詠まれた状況や心情を想像し、和歌を鑑賞する。 ・各作品に関する文学史的な知識・時代背景・古文常識を理解し、鑑賞に活かす。 ＜漢文＞ ◎基礎知識（訓点、書き下し文、置き字、再読文字、句法など）の習得と読解能力の養成を行う。 ・漢文故事の面白さを知るとともに、そこに見える人間の考え方を理解する。 ・寓話を読解し、その話が意味する内容を推察する。 ・漢詩のきまりを学び、詠まれた状況・心情を想像し、漢詩を味わう。				
到達目標	◎　古典作品に対する興味・関心を育み、古典に親しむ。 ◎　古典の特徴・現代文との違いを知り、古典を読む基礎を学び、読解力を身につける。 ◎　筆者と作品や時代背景について理解し、古典世界における人々の思想や感情を読み取り、自分のものの見方や考え方を豊かにする。				
評価方法	定期考査、小テスト、課題・ノートの提出・日常の授業の取り組み姿勢、出席状況などを総合的に判断して評価を行う。				
使用教材	教科書　「国語総合　古典編」（東京書籍） 副教材　「新修　古典文法　二訂版」（京都書房） 「古典　グレートラーニング 48　レベル 1」（尚文出版） 「keypoint 古文単語 330　三訂版」（いいずな書店） 「新明説漢文」（尚文出版）　「新明説漢文ノート」（尚文出版） 「新総合　国語図説」（東京書籍）				
その他	古典の力をつける最良の方法は、予習をして授業に臨むことである。（本文写し、品詞分解、単語調べ、現代語訳、訓読書き下し文など）。課題なども含め、何事も自分で考えやってみる。「わからない」とすぐに投げださずに、粘り強く文章に関わっていこう。				

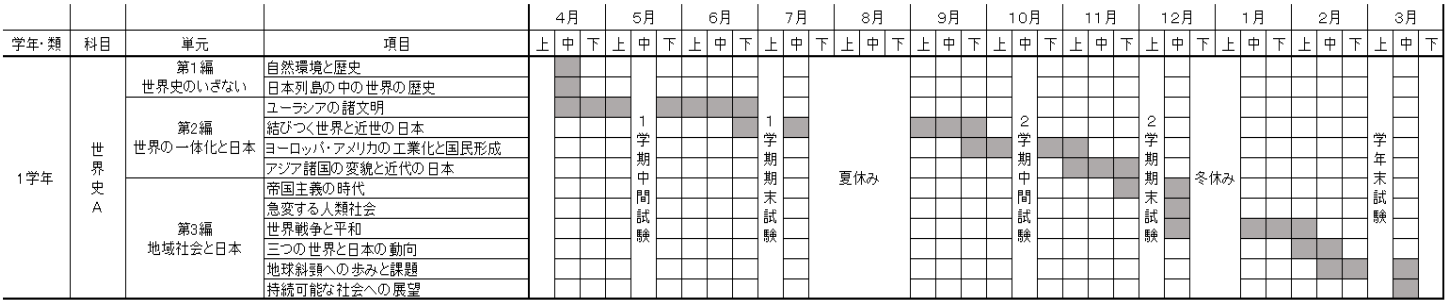
学年・コース	科目	単元	作品	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
				上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年探究	国語総合（古典）	説話	今昔物語					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		随筆	徒然草																																				
		歌物語	伊勢物語																																				
		軍記物語	平家物語																																				
		和歌	万葉集・古今和歌集・新古今和歌集																																				
		漢文入門	訓読の基本																																				
		故事	故事成語																																				
		寓話	十八史略																																				
		漢詩	唐詩																																				

授業科目	論理コミュニケーション				平成３０年度 国語科シラバス
学年（コース）	１学年	探究	単位数	1	
授業内容	１　自分の意見に根拠をつけて文章を書く練習をする。 　設計図の手順とルールを理解し、それをもとに記述する。 ２　より具体的で的確な根拠や事例を書くための演習を行う。 また最初に意見ありきではなく、根拠や事例を考えることによって 判断していく練習をする。 ３　引用や言葉の定義をすることで、より説得力のある文章を書く練習をする。 グループで読み合ったり、クラスで発表したりして、人の文章を評価し、 人と意見を共有しながら、お互いの考えを深めていく活動を適宜入れる。				
到達目標	・　自分の意見を論理的に書くことができる記述力を身につける。 ・　他者の意見を理解し、それに対して自分の意見を構築し、表現できる力を身 につける。				
評価方法	定期考査（期末試験）・課題の提出・日常の授業の取り組み姿勢・ 出欠などを総合的に判断して評価を行なう。				
使用教材	「論理コミュニケーション第３版」（慶應義塾大学出版会） に基づく記述演習プリント				
その他	・　論理的にコミュニケーションする力は、社会で求められている能力であり、 大学に入学した後も能力を伸ばし続けるために必要な基礎力です。 ・　自分を表現すること、他者を理解することを楽しんでください。				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	論理コミュニケーション	設計図のルール	論理的な文章の書き方					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			Stepごとの基礎演習																																				
			設計図を使って文章を書く																																				
		文章を深める	根拠を深める演習																																				
			事例を深める演習																																				
			言葉の定義をする演習																																				
		演習	意見を論理的に書く演習																																				

授業科目	世界史A				平成30年度 社会科シラバス
学年・コース	1学年	探究	単位数	2	
授業内容	教科書を中心として図表や資料等を適時導入しながら、世界の歴史への関心・意欲を喚起させ、世界の中の日本という意識を高めさせる。 全体を通して，近現代の世界の形成過程を諸資料に基づき地理的条件や日本の歴史と関連付けながら，学習させる。 第１編では，自然環境と歴史及び日本の歴史と世界の歴史のつながりにかかわる主題を取り上げ，世界史を学ぶ際に必要な視点や方法に触れることで，地理と歴史への関心を高め 世界史学習の意義に気付かせる。 第２編では，前近代史を近現代世界を理解する前提として位置付けるとともに，16 世紀以降の次第に一体化する世界の歴史を中心に扱う。 第３編では，前近現代から発展した現代世界という位置づけで，現代世界の特質と展開過程を理解させるとともに，人類の課題を歴史的観点から考察さる				
到達目標	世界の歴史への興味・関心をもち、主体的に歴史の学習に取り組む。 自国の歴史や文化を客観的に見る目をはぐくみ、国際社会で活躍できる資質を養う。				
評価方法	定期考査（80%）、提出物、授業ノート等（20%）を加味し、総合的に評価をする。				
使用教材	高等学校　改訂版　世界史Ａ(第一学習社)				
その他					



授業科目	現代社会				平成30年度 社会科シラバス
学年・コース	1学年	探究	単位数	2	
授業内容	・地球環境問題や生命倫理問題などの社会問題から幸福，自由，正義について理解する。 ・青年期における自己形成について考えるとともに，よりよく生きることを追求した先哲の思想について理解する。 ・日本国憲法，政治機構などから人権と民主主義について理解し，現代の政治課題について考察する。 ・「法の支配」を理解するとともに，現代社会における法の働きなどについて学ぶ。 ・経済の仕組みを市場や国民経済の観点から理解し、国民生活や経済に対する政府のありかたについて考察する。 ・国際社会について政治経済の観点から理解するとともに，国際問題について考える。 ・時事問題から現代社会の諸課題について考える。また、スクラップや時事問題を適宜とりあげる。				
到達目標	現代の諸問題から、人権・民主主義・法・経済・国際問題など、社会で活躍する大人として必要な一般知識をみにつけ、それらの問題に対して考える力をつける。				
評価方法	定期考査を７割、授業態度、提出物等の平常点を３割として評価をする。				
使用教材	教科書：東京書籍　「現代社会」 副教材：実教出版　「2018　ズームアップ現代社会資料」				
その他					

●授業進度表

			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年探究	現代社会	テーマ1・2・3		■	■	■	1学期中間試験					1学期期末試験			夏休み						2学期中間試験						2学期期末試験			冬休み						学年末試験		
		現代社会と青年期の生き方				■		■	■																													
		よりよく生きることを求めて							■	■	■		■					■	■																			
		民主政治																	■	■																		
		日本国憲法の基本原理																		■	■																	
		日本の政治機構																		■	■	■																
		現代政治の特質と課題																			■	■	■															
		個人の尊重と法の支配																					■	■	■													
		経済の仕組み																						■	■	■				■	■							
		変化する日本経済																													■	■						
		豊かな生活の実現																														■	■					
		国際政治のしくみと動向																															■	■				
		国際社会の現状と課題																																■		■		

授業科目	数学ⅠⅡ				平成30年度 数学科シラバス
学年・コース	1学年	探究	単位数	4	

授業内容	第１章　数と式 数を実数まで拡張する意義を理解できるようにする。また，式を多面的にみたり処理したりするとともに，1 次不等式を事象の考察に活用できるようにする。 第２章　集合と命題 集合と命題に関する基本的な概念を理解し，それを事象の考察に活用できるようにする。 第３章　２次関数 2 次関数とそのグラフについて理解し，2 次関数を用いて数量の関係や変化を表現することの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できるようにする。 第４章　図形と計量 三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量の考えの有用性を認識するとともに，それらを事象の考察に活用できるようにする。 数学Ⅱ 第１章　式と証明 整式の除法，分数式の計算，等式・不等式の証明について学ぶ。
到達目標	・各章の学習により，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 ・学習した内容を用いて日常生活に関わることを分析しようとする資質を育む。
評価方法	①　定期考査，課題点検テスト，小テスト ②　週末課題，ノート，長期休暇中の課題などの提出物 ③　学習活動への取り組み，授業参加，授業態度 ①～③を総合的に判断する
使用教材	教科書：「改訂版 新編 数学Ⅰ」「改訂版 新編 数学Ⅱ」（数研出版） 副教材：「改訂版 3TRIAL 数学Ⅰ＋A」「改訂版 3TRIAL 数学Ⅱ＋B」（数研出版） 「改訂版チャート式数学Ⅰ＋A」「改訂版チャート式数学Ⅱ＋B」（数研出版） 「進研 WIN　STEP　数学ⅠA」（learns）
その他	第５章　データの分析について，数学 A の授業時間内で学習を行う予定

					4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単位	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	数学Ⅰ	4	数と式	式の計算					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
				実数																																				
				1次不等式																																				
				集合と命題																																				
			2次関数	2次関数とグラフ																																				
				2次関数の値の変化																																				
				2次方程式と2次不等式																																				
			図形と計量	三角比																																				
				三角形への応用																																				
			式と証明	式と計算																																				
				等式・不等式の証明																																				

授業科目	数学Ａ				平成30年度 数学科シラバス
学年・コース	1学年	探究	単位数	2	
授業内容	第１章　場合の数と確率 場合の数を求めるときの基本的な考え方や確率についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。 第２章　図形の性質 平面図形や空間図形の性質についての理解を深め，それらを事象の考察に活用できるようにする。 第３章　整数の性質 整数の性質についての理解を深め，それを事象の考察に活用できるようにする。 数学Ⅰ 第５章　データの分析 統計の基本的な考えを理解するとともに，それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できるようにする。				
到達目標	・各章の学習により，数学のよさを認識し，それらを事象の考察に活用して数学的な考え方に基づいて判断しようとする。 ・学習した内容を用いて日常生活に関わることを分析しようとする資質を育む。				
評価方法	①　定期考査，課題点検テスト，小テスト ②　週末課題，ノート，長期休暇中の課題などの提出物 ③　学習活動への取り組み，授業参加，授業態度 ①～③を総合的に判断する				
使用教材	教科書：「改訂版 新編 数学Ａ」「改訂版 新編 数学Ⅰ」（数研出版） 副教材：「改訂版 3TRIAL 数学Ⅰ＋A」（数研出版） 「改訂版チャート式数学Ⅰ＋A」（数研出版） 「進研 WIN　STEP　数学Ⅰ＋A」（learns）				
その他					

					4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単位	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	数学A	2	場合の数と確率	場合の数					1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
				確率																																				
			図形の性質	平面図形																																				
				空間図形																																				
			整数の性質	約数と倍数																																				
				ユークリッドの互除法																																				
				整数の性質の活用																																				
			データの分析	データ分析																																				
				変量の変換																																				

授業科目	物理基礎				平成 30 年度 理科シラバス
履修学年ｺｰｽ	1　学年	探究	単位数	2	
授業内容	運動とエネルギー・熱・波・電気といった物理基礎の４分野の中から、運動とエネルギーおよび熱の分野を履修する。特に、運動とエネルギーについては他の分野の基礎となるので、時間をかけて重点的に授業を進める。 1　運動とエネルギー ・物体の運動を表す量としての変位、速度、加速度の理解を、ベクトルの理解と合わせて深める。 ・静力学の根幹である作用反作用の力とつり合いの力の違いを明確にし、動力学の理解につなげる。 ・運動方程式を理解することで力に関係する事象を解析する力を養う。 ・仕事とエネルギーの関係を通して、エネルギーが広い意味で保存量であることに気づかせ、次の熱分野につなげる。 ２　熱 ・温度と熱の関係から入って、熱力学の第一法則を通して熱と仕事の関係を理解し、エネルギー収支の視点で自然界を分析できるようにする。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・自然界で生起する様々な力学現象の中から単純化させたものを取り上げ、運動の記述方法について学び、解析力をつけること。 ・力学的エネルギーや熱エネルギーを通してマクロおよびミクロ的な視点から自然現象について考察できる力をつけること。 ・力学や熱学を通して物理学が社会の発展に果たしてきた役割に気づくこと。 ・習った分野ではセンター試験レベルの問題を解く力を身につけること。				
評価方法	定期考査・小テスト・課題の取り組み状況・平常授業の取り組み姿勢、等から総合的に判断して評価する。 知識・理解・思考・判断・技能・表現は主として定期考査から、関心・意欲・態度は主として定期考査以外の内容から判断する。その際、定期考査とそれ以外の比率を決めるなどして担当者によって差がでないよう考慮して評価する。				
使用教材	教科書：物理基礎（数研出版） 副教材：フォローアップドリル物理基礎（数研出版） □運動の表し方・力・運動方程式　　□仕事とエネルギー・熱				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･ｺｰｽ	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究 コース	物理基礎	運動とエネルギー	運動の表し方		■	■	■	1学期中間試験	■	■	■	■	1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験										学年末試験		
			運動の法則											■					■	■	■	■			■															
			仕事と力学的ｴﾈﾙｷﾞｰ																							■	■		■			■	■							
		熱	熱とｴﾈﾙｷﾞｰ																															■	■	■				

授業科目	生物基礎				平成 30 年度 理科シラバス
学年・コース	1学年	探究コース	単位数	2	
授業内容	第１部生物の特徴 生物の多様性と共通性の視点を身につけ，生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造と働きを学び，生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 第２部 遺伝子とその働き 生物と遺伝子について観察，実験などを通して探究し，細胞の働き及び DNA の構造と機能の概要を理解する。 第３部 生物の体内環境の維持 生物の体内環境の維持について観察，実験などを通して探究し，生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解させ，体内環境の維持と健康との関係について認識する。 第４部 生物の多様性と生態系 生物の多様性と生態系について観察，実験などを通して探究し，生態系の成り立ちを理解し，その保全の重要性について認識する。				
到達目標	理科の目標 ・日常の様々な事象を科学的観点から見つめる事ができる、豊かな自然観をもった人物を育てる。 ・科学的なリテラシーをもった、自然科学が好きな人物を育てる。 学習の目標 ・生物や生物現象に対する探究心を高め，目的意識をもって観察，実験などを行い，生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに，生物学の基本的な概念や原理･法則の理解を深め，科学的な自然観を養う。 ・センター試験レベルに止まらず大学の二次試験問題を解く力をつけること。				
評価方法	下記の(1)～(5)の項目を評価し、各学期の成績は総合的に判断します。 **(1)授業への取り組み**　授業に対する姿勢，学習態度，生物への関心などで判断する。 **(2)ノートの記載内容**　授業内容を適切にまとめているか，科学的な思考ができているかなどを評価する。 **(3)観察･実験等**　観察･実験等を行い，レポートを書く。観察･実験に対する姿勢，予想や考察，器具の操作，報告書などから評価する。 **(4)教科書･問題集の問題**　各問題への取り組み，取り組んだ内容から評価する。 **(5)中間･定期考査**　学習内容に合わせて問題を出題する。				
使用教材	教科書　生物基礎　数研出版 副教材　リードα生物基礎　数研出版 スクエア最新図説生物　第一学習社				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年･類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	生物基礎	生物と遺伝子	生物の特徴		＊	＊	＊	1学期中間試験	＊	＊	＊		1学期末試験									2学期中間試験						2学期末試験									学年末試験		
			遺伝子とそのはたらき									＊		＊					＊	＊																			
		生物の体内環境の維持	生物の体内環境																		＊	＊	＊	＊	＊	＊	＊												
		生物の多様性と生態系	植生の多様性と分布																												＊	＊	＊	＊	＊	＊			
			生態系とその保全																																				

授業科目	体育（体育実技1単位、柔道1単位）				平成30年度 シラバス
履修　類・学年	全コース	1年男子	単位	2	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・ラグビー、ソフトボール 集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・持久走（特色種目） 体力とともに最後まで走り抜く精神力と忍耐を養い、今後の学習活動に活かす。マラソン大会の安全対策とマラソン事前学習の習得とする。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・柔道 柔道の基本技術を身につける。相手の動きに対応した攻防ができる。強い精神力と相手を尊重し思いやる心を身につける。ルールを守り、安全に試合ができるようにする ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いながら技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	・関心、意欲、態度　・思考判断　・技能　・知識理解				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年男子	体育	集団行動	姿勢、方向転換	■	■	■		1学期中間考査					1学期期末試験										2学期中間考査						2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散	■	■	■																																
		体力づくり	体ほぐしの運動	■	■	■	■																															
			体力を高める運動	■	■	■	■																															
		球技	基本的技能運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■										■	
			基本的技術運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■										■	
		陸上	基礎、基本的な運動																■	■	■																		
			合理的な運動																■	■	■																		
		柔道	基礎、基本の特性運動							■	■	■	■									■			■	■	■	■											
			相手との対応した動き							■	■	■	■									■			■	■	■	■											
		持久走	体力向上の運動																												■	■	■	■	■			
			精神力や忍耐力メントレ																												■	■	■	■	■			
		体育理論	合理的な運動を学習する									■															■								■			
			練習方法や必要な体力									■															■								■			
			生涯スポーツの意味									■															■								■			

授業科目	体育				平成30年度 シラバス
履修　類・学年	全コース	1年女子	単位	2	
授業内容	・集団行動 学校生活の中で集団行動する機会が非常に多い。このような場合、守らなければならない諸事項をお互いに守ることによって、集団として秩序を身につける。 ・体つくり運動 自分の体力・運動能力の現状を確かめる。その結果をよく分析して、不足している能力を高めるためいろいろなスポーツ活動に親しみ、ますます心身を鍛錬して、健康で充実した学校生活が送れるよう努力することを学ばせる。 ・バレーボール、バスケットボール 集団スポーツの特性を理解する。基本的ルールを理解するとともに基本的技能を身につけ、技術を上達させる。 ・持久走（特色種目） 体力とともに最後まで走り抜く精神力と忍耐を養い、今後の学習活動に活かす。マラソン大会の安全対策とマラソン事前学習の習得とする。 ・陸上 歩く、走、跳、投の人間の基礎的・基本的運動を身につける。体力や運動能力をそれぞれの種目で十分に生かすためには、合理的な運動の技術を身につける。 ・体育理論 合理的な動きを理解し、練習によって身につけることや、必要な体力をトレーニングによって向上させることで、運動やスポーツを生涯にわたって継続していくための基礎を学習する。				
到達目標	・積極的に楽しく運動に取組んでいる。 ・声を掛け合い、励まし合い、教え合いならが技術の習得に取り組んでいる。 ・ゲームを進めるためのルールを理解している。 ・スキルテストで標準技能や技術を習得させる。				
評価方法	・関心、意欲、態度　・思考判断　・技能　・知識理解				
使用教材	アクティブスポーツ総合版（大修館）				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年女子	体育	集団行動	姿勢、方向転換	■	■	■		1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			集合、整とん、隊形、解散	■	■	■																																
		体つくり	体ほぐしの運動	■	■	■	■																															
			体力を高める運動	■	■	■	■																															
		球技	基本的技能運動																			■			■	■	■	■									■	
			基本的技術運動																			■			■	■	■	■									■	
		陸上	基礎、基本的な運動							■	■	■	■						■	■	■																	
			合理的な運動							■	■	■	■						■	■	■																	
		持久走	体力向上の運動																											■	■	■	■	■				
			精神力や忍耐力メントレ																											■	■	■	■	■				
		体育理論	合理的な運動を学習する									■														■								■				
			練習方法や必要な体力									■																						■				
			生涯スポーツの意味									■														■								■				

授業科目	保健				平成30年度 シラバス
履修　類・学年	全コース	1年	単位	1	
授業内容	1学期　現代社会と健康（私たちの健康のすがた～喫煙と健康） 2学期　現代社会と健康（飲酒と健康～心の健康と自己実現） 3学期　現代社会と健康（交通事故の現状と要因～日常的な応急手当） クラス単位の講義形式。 視聴覚室でビデオ学習することもある。 「生活習慣」『ストレス』など現代社会を特徴づけるこれらの言葉が示唆するように、私たちの周囲には健康を脅かす数多くの危険因子がある。それらについての知識を深め心身ともに健康的な生活を送るためにどうすればよいかを学ぶ。				
到達目標	現代から将来にわたっての、健康的な生活とは何かを考え、心身の健康の価値を日常生活の中で確認し、自ら進んで行動できるようにする。				
評価方法	定期考査を主な評価対象とするが授業態度、ノート提出、出席状況等を加味して総合評価をする。				
使用教材	教科書「保健体育」（大修館） ノート「現代保健ノート」（大修館）				
その他	必履修科目				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年	保健	現代社会と健康	私たちの健康のすがた		■			1学期中間試験					1学期末試験										2学期中間試験					2学期末試験									学年末試験		
			健康のとらえ方		■																																		
			健康と意思決定・行動選			■																																	
			健康に関する環境づくり				■																																
			生活習慣病とその予防						■																														
			食事と健康							■																													
			運動と健康								■																												
			休養・睡眠と健康									■																											
			喫煙と健康											■																									
			飲酒と健康																■																				
			薬物乱用と健康																	■																			
			現代の感染症																		■																		
			感染症の予防																			■																	
			性感染症・エイズとその予																				■																
			欲求と適応機制																					■															
			心身の相関とストレス																						■														
			ストレスへり対応																							■													
			心の健康と自己実現																									■											
			交通事故の現状と要因																												■								
			交通社会における運転者																													■							
			安全な交通社会づくり																														■						
			応急手当の意義とその基																															■					
			心肺蘇生法																																■				
			日常的な応急手当																																			■	

授業科目	芸術　音楽　Ⅰ				平成 30 年度 芸術科シラバス
履修　類・学年	1 年	全コース（選）	単位数	2	
授業内容	主に作曲理論の学習とバンド編成による楽曲の演奏活動を通して、音楽的感性を深め、演奏の基本手法を実習すると共に、主体的かつ創造的な芸術的表現を行う。 **1 学期　音楽理論と実習　基本奏法の練習** **2 学期　基本奏法の練習と合奏・声楽パートの練習及び弾き歌い。歌曲創作** **3 学期　様々な様式　民族音楽（日本の伝統音楽を含む）、クラシック、ジャズなどの特徴について。** **合奏表現とパフォーマンス・授業内試演（ライブ）**				
到達目標	○調性音楽の理論の理解と利用　○日本語のアクセントを利用した作曲表現 ○メンバーの志向等を共有・共感しながら演奏曲目の選定と担当楽器の設定を行う ○各楽器の基本奏法の理解と演奏。コード・ネームに関連した楽典の理解と連携。 ○各楽器に関連した機材等の効果および操作理解 ○個人練習・合奏練習のメニュー理解と稽古実施 ○声楽的観点による表現の工夫　○弾き歌いを中心にした楽曲の解釈とコピー、カヴァー、オリジナルの概念理解　○音楽における様々な様式と歴史の理解 ○クロスオーバーの概念理解および応用　○総合芸術の理解				
評価方法	**［単位修得要件］**　出席日数、授業参加練習態度、持ち物（楽譜など）、順番で行うレッスン等の評価、学期ごとの学科（筆記）試験、同学年末の演奏実演。以上を加味しながら実技 70%、理論 30%にて評価を決定する。				
使用教材	**教育芸術社　MOUSA　Ⅰ　及び　各グループ単位の任意の楽譜　　資料プリント等**				
その他	**［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］**　小・中学校で培われた音楽的演奏能力および音楽的知識一般。ただし楽器演奏の基本能力は特に問わない。 **［注意事項］**　この授業は**主体的な音楽表現**を試みる事を目的としている。初めて演奏する事になる楽器などもあると思われるが、指定された課題を丁寧に練習していくことにより、音楽的表現の可能性を実体験し追求して欲しい。				

●授業進度表

科目	単元	項目	4月 上	4月 中	4月 下	5月 上	5月 中	5月 下	6月 上	6月 中	6月 下	7月 上	7月 中	7月 下	8月 上	8月 中	8月 下	9月 上	9月 中	9月 下	10月 上	10月 中	10月 下	11月 上	11月 中	11月 下	12月 上	12月 中	12月 下	1月 上	1月 中	1月 下	2月 上	2月 中	2月 下	3月 上	3月 中	3月 下
音楽	音楽理論と作曲	調性音楽の理論概説																																				
		日本語歌詞を使用した作曲実習																																				
	合奏準備	メンバー編成、担当楽器設定、演奏曲目選定																																				
		各楽器などの取り扱い説明																																				
	基本奏法	コード・ネーム及びタブラチュア譜とコード・ダイアグラムの認識																																				
		ドラムスのストロークと基本ビート																																				
		ギター、ベースにおけるロー・ポジションのコード・フォームとそれらのポジション連結																																				
		キーボードにおけるコード・フォームおよび和音の基本形と転回形																																				
		ドラムにおけるリズム・パターンの変更とフィル・イン																																				
	基本奏法の発展と合奏	ギターにおけるロー・ポジションのコードを使用したアルペジオと弾き歌い																																				
		パワー・コードと音色					1学期中間試験					1学期末試験									2学期中間試験						2学期末試験									学年末試験		
		ベースにおけるドラムパートとの協調																																				
		コード・ルート以外の使用（和音の転回型）および弾き歌い																																				
		キーボードにおける音色設定に関する考察および弾き歌い																																				
		和音の密集配置と解離配置　アルペジオ																																				
		ドラムにおける基本リズム変形応用　ルーディメントの考察																																				
		合奏時の機材使用法と留意点																																				
		合奏練習																																				
	声楽パートの練習及び　弾き歌い	発声																																				
		声楽パートの練習と表現																																				
	様々な様式	クラシック、ジャズ、民族音楽などの歴史と特徴。日本音楽史																																				
	合奏表現とパフォーマンス	演奏プランの確定																																				
		舞台芸術としての観点とその理解																																				
		授業内試演（ライブ）																																				

授業科目	芸術　美術 Ⅰ				平成30年度 芸術科シラバス
履修 類・学年	１年	全コース（選）	単位数	２	
授業内容	・オリエンテーション ・芸術鑑賞・美術基礎知識 ・デッサン（絵画・立体表現分野） ・ポスター（デザイン分野） ・イラストの制作 ・立体構成デザイン画の制作（デザイン・工芸分野） ・水彩画花と風景の制作 ・色鉛筆画の制作 ・平面構成（デザイン分野）　（その他の制作、状況に応じて変更あり）				
到達目標	・思いを込めた丁寧な制作態度を身に着け、作品への愛着を感じる。 ・美術の学習を通じて、表現する喜びや楽しさを経験する。 ・デッサンでは色々な描画材料を使い、物の正確な形、本質を追及する態度を身につける。 ・作品の制作を通じて、丁寧に制作された物の価値を知る。 ・デザインの課題を通して、社会の中でデザインの在り方について考えを深める。 ・著作権法を知り著作物の保護について考える。 ・立体的なデザイン表現を知ると共に、構成力・造形力を養う。 ・創作活動を通して表現力を身につける。 ・社会の中にある色彩や表現を発見し、発展させる力を身につける。				
評価方法	［単位修得要件］ 課題に要求される習熟度、作品の完成度、授業態度、出席日数、学年末の学科試験を加味し実技７０％、知識・理論３０％で評価する。				
使用教材	日本文教出版　高校美術１　資料・配布プリント　他				
その他	［あらかじめ要求される基礎知識の範囲］ 小・中学校で学んだ美術の基本的知識、技能。				

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 全コース	美術	美術知識	基礎知識					1学期中間試験						1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
			色彩学																																				
			美術史1・2																																				
			絵画・デザイン																																				
		デザイン	ポスターの知識																																				
			ポスターデザイン																																				
			ポスター下描き																																				
			ポスター着色																																				
		絵画とデザイン	色鉛筆画																																				
			立体デザイン画構成																																				
			立体デザイン画下描き																																				
			立体デザイン画着色																																				
		水彩画と平面構成	水彩画（花）																																				
			水彩画（風景）																																				
			平面構成																																				

授業科目	書道Ⅰ				平成 30 年度 芸術科シラバス
履修　学年・類	1年	全コース（選）	単位数	2	
授業内容	・ 書写と書道の違いを理解する。姿勢・執筆法、用具・用材を理解する。 ・ 書の歴史を知る。 ・ 中国の歴史的作品の鑑賞・理論を通し、臨書（実技）をする。 　・ 楷書の学習 　・ 行書の学習 ・ 平仮名、片仮名の成り立ちを理解し、平安時代の仮名の基礎を学ぶ。 　・ いろは歌・連綿 ・ 日常生活における実用的な書を学ぶ。				
授業計画	・ 楷書の学習（中国古典：九成宮禮泉銘・孔子廟堂碑・雁塔聖教序） ・ 行書の学習（中国古典：蘭亭序・争坐位稿） 　　（日本古典：風信帖） ・ 仮名の学習（平仮名、片仮名の成り立ち・いろは歌・連綿） ・ 生活の中の書（実用書道） ・ 硬筆の学習（ひらがな、カタカナの正しい書き方） （その他、時間や状況に応じて変更有り）				
到達目標	・ 書写と書道の違いを理解する。 ・ 書く姿勢、筆の持ち方、用具・用材についての知識を理解する。 ・ 漢字の書体、楷書の成立と基本用筆について理解する。 ・ 様々な作品を鑑賞する。臨書を通し、字形や運筆の特徴を理解する。 　（背勢と向勢・蔵鋒と露鋒・方勢と円勢の違い等） ・ 行書の成立と基本用筆について理解し、楷書との違いを理解し、表現する。 ・ 平仮名、片仮名の成り立ちを理解する。 ・ 仮名の成立と基本用筆・連綿の流動美を理解し、表現する。 ・ 生活で必要な実用書道の基礎・基本的な事項を理解し、文字の原則・原理に基づいて書くことができる。				
評価方法	毎時間の作品提出、習熟度、出席日数、授業態度、持ち物（教科書と道具）、学期末の学科試験を加味して実技 70%　理論 30%にて総合的に評価決定する。				
使用教材	光村図書　書Ⅰ 資料・配布プリント等				
その他					

●授業進度表

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・類	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 全コース	書道	楷書	九成宮禮泉銘					1学期中間試験					1学期期末試験											2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
			孔子廟堂碑																																			
			雁塔聖教序																																			
		行書	蘭亭序																																			
			争坐位稿																																			
			風信帖																																			
		仮名	いろは歌・連綿																																			
		硬筆	硬筆																																			
		調和体	生活の中の書																																			

授業科目	コミュニケーション英語Ⅰ				平成 30 年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	1 学年	探究コース	単位数	3 単位	
授業内容	テキストに沿ってさまざまな英文を読み,的確に理解しながら自分なりの意見を持ち,知見を広げる。「聞く」「読む」「対話」「発表」「書く」の５技能を有機的に関連付け,総合的に学習を行う。アクティビティ,ディスカッション,ALT との言語活動,自宅学習においても積極的な姿勢を持つことが求められる。 １） Listening を使った聞く活動 ２） Retelling&Speaking を使った表現活動 ３） Comprehension を使った内容理解および語彙定着 ４）その他にもタイムリーな教材を使用しながら，総合的な英語力を培う				
到達目標	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに，情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする基礎的な能力を養います。 特に，「聞く」「読む」「対話」「発表」「書く」の５技能について学年末までに次のことができるようになることを目指します。 １）授業における英語による指示や，教科書と同じ語彙レベルのさまざまな英文や対話を聞いて，その概要や要点を理解することができる。 ２）教科書と同じ語彙レベルのさまざまな内容の英文を読んで理解することができる。また聞き手に伝わるように教科書を音読することができる。 ３）教科書で学んだ内容や自分の経験や知っていることについて，簡単な英語で話すことができる。 ４）身近な出来事や自分の考えを，簡単な英文で読み手に伝わるように書くことができる。				
評価方法	評価の観点 ①コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ②英語表現の能力 ③英語理解の能力 ④言語や異文化についての知識・理解, 以上の４点について定期テストや小テスト,ノートや課題提出,授業への取り組み等を総合的に勘案し評価する。				
使用教材	・POLESTAR English Communication Ⅰ（教科書）【数研出版】 ・POLESTAR English Communication Ⅰ（ワークブック）　【数研出版】 ・Data Base 3000 基本英単語・熟語 5th Edition（単語帳）【桐原書店】 ・総合英語 Vision Quest（文法参考書）【啓林館】 ・辞書				
その他	3 単位の内 1 単位は，ネイティブと日本人英語教師との Team Teaching である。 定期試験にはリスニング，ライティング問題が課せられる。				

				4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	単元	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	コミュニケーション英語Ⅰ	Lesson1	Washoku		■	■		1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験					2学期期末試験									学年末試験		
		Lesson2	Different Bottles, Different Names			■	■																																
		Lesson3	The Adventure of Ishikawa Naoki						■	■																													
		Lesson4	Bright Stars in a Dark Sky								■	■																											
		Lesson5	The Story of Amazing Grace																■	■																			
		Lesson6	The Dark Side of Diamonds																		■	■																	
		Lesson7	Ice Cream That Does Not Melt																				■	■															
		Lesson8	The World of Haiku																						■	■													
		Lesson9	Stephen's Story																												■	■							
		Lesson10	Messages from a Trunk																														■	■					
		Extra	実践演習																																■		■		

授業科目	英語表現Ⅰ				平成３０年度 英語科シラバス
学年・類（コース）	1学年	探究コース	単位数	3単位	
授業内容	英語を通じて，積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。また、英語を通じて，事実や意見などを多様な観点から考察し，論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝える能力を養う。 コミュニケーションを支えるための言語活動を効果的に行うため，目次の文法事項に沿って進める。辞書・参考書等も活用し展開する。 ・Model Conversation で文法項目の使用場面を把握する ・Build-up で表現するための文法を理解する ・Practice で自分が理解したことを output することで定着を図る 以上のことと平行して，Vision Quest 総合英語 Ultimate を使って文法事項の理解を深める。				
到達目標	言語や文化に対する理解を深め，コミュニケーションを図ろうとする態度を養うとともに，論理的な思考力を養い，論理の展開や表現の方法を工夫し，伝える能力を養う。特に，英語を使った「表現」について学年末までに次のことができるようになることを目指します。 １）英語の語順を理解し，基本的な文を書いたり，発話することとができる。 ２）自律した学習者として，自分で通じる英語に修正する力が重要であることに気付くことができる。 ３）スピーチなど，英語を使って自らの考えを発信するために必要な知識の基盤としての文法項目を理解し，使うことができる。 ４）段落を意識した構成ができ，ある程度まとまった英文を書くことができる。				
評価方法	評価の観点 １）コミュニケーションへの関心・意欲・態度 ２）表現の能力 ３）理解の能力 ４）言語や文化に対する知識・理解 以上の４点について定期テストや確認テスト，授業ノートや課題の提出，授業への取り組み等を総合的に勘案し評価する。				
使用教材	・English Expression Ⅰ　Vision Quest (Advanced)（教科書）　【啓林館】 ・English Expression Ⅰ Ⅰ　Advanced Work（ワークブック）　【啓林館】 ・Vision Quest 総合英語 Ultimate（参考書）　【啓林館】 ・Data Base 3000 基本英単語・熟語 5th Edition（単語帳）　【啓林館】 ・辞書				
その他	3 単位の内 1 単位は，ネイティブと日本人英語教師との Team Teaching である。 定期試験にはリスニング，ライティング問題が課せられる。				

			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
学年・コース	科目	項目	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1年 探究	英語表現Ⅰ	Lesson1～Lesson2		■	■	■	1学期中間試験					1学期期末試験										2学期中間試験						2学期期末試験									学年末試験		
		Lesson3～Lesson5					■	■	■	■	■																											
		Lesson6～Lesson8										■						■	■	■	■																	
		Lesson9～Lesson11																				■	■	■	■													
		Lesson12～Follow-up1～5																									■			■	■	■	■	■		■		

授業科目	社会と情報				平成30年度 情報科シラバス
学年・コース	1学年	創造・探究コース	単位数	2	
授業内容	・文章作成ソフト（Word）、表計算ソフト（Excel）、プレゼンテーションソフト（Power Point）についての基本的な操作方法を学び活用する。 ・情報社会の進展による光と影を理解した上で、適切に情報を活用できる知識・考え方を学ぶ。 ・インターネットを活用する上での利便性と危険性を理解し、情報セキュリティーについての知識と理解を深める。 ・情報社会における法律（産業財産権、著作権、個人の権利等）について、実践例を踏まえながら学び、正しい知識を身につける。 ・ディジタル化された情報について学び、日常生活に密接に関係している情報機器のディジタル表現を理解する。 ・インターネットの仕組みを理解し、ネットワークを活用して効率的に情報を検索・収集できる知識を身につける。 ・情報技術のこれまでの発展について学び、現状とこれからの情報社会の将来について考える。 ・ロボット・プログラミング学習を行い、論理的思考能力を向上させる。				
到達目標	・文章作成ソフト、表計算ソフト、プレゼンテーションソフトの基本的な操作方法と活用を習得させる。 ・情報通信ネットワークを利用して情報を適切に収集し、さまざまなツールを活用して主体的に情報を処理・発信するための基礎的な知識・技能を習得させる。 ・情報機器の基本的構造や情報通信ネットワークの仕組みなどの基礎的な知識を身につけ、その有効的な活用方法を習得させる。 ・情報社会におけるさまざまな法を学び、適切に情報を扱うための知識と態度を育成する。 ・社会の中で情報技術が果たしている役割や影響を理解するとともに、情報モラルや情報を扱うことに対する責任について考え、情報社会の一員として参画する態度を育成する。 ・Robo Blocks（ロボブロックス）を使って Pepper をイメージ通りに作動させることで、協力してものを創造する力を身につけさせる。また、プログラミング学習を通し、「主体的な学び」「対話的な学び」「深い学び」の能力を向上させる。				
評価方法	各学期の期末試験、実技点、平常点（提出物や授業に取り組む姿勢等を総合的に判断して評価する				
使用教材	教科書 『 改訂版 高等学校 社会と情報 』 数研出版				
その他	各単元で必要に応じて教員が補助教材を作成し、配布する				

				4月		5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月
学年・コース	科目	単元	項目	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上
1年 創造・探究コース	情報と社会	情報社会と情報モラル	情報社会の光と影																																	
			情報セキュリティー																																	学年末試験
			情報社会における法と個人の責任																																	
		文章作成	文章作成ソフトの利用・活用																																	
		ディジタル情報と情報の活用	コンピュータの仕組み																																	
			情報のディジタル表現				1学期中間試験					1学期期末試験									2学期中間試験						2学期期末試験									
			ロボット・プログラミング																																	
		情報通信ネットワーク	コミュニケーション手段の発達																																	
			インターネットの仕組み																																	
		望ましい情報社会の構築	情報システムと人間																																	
		表計算	表計算ソフトの利用・活用																																	
		情報社会の構築	情報システムと人間																																	